

渡辺ゼミ

- ★研究テーマ：経営戦略
- ★開講時限：水曜5限～その日やることが終わるまで
- ★人数：2023年新設なので、ゼミ生はまだいません。
- ★論文：必須 春夏学期に研究を行い、論文を書きます

テーマ例：対象は何でも良いが、新規性が必要

- ★開催形式：（オンライン：対面＝1～2：8～9）
- ★授業外での交流：教員参加のアフターは学期に3回位。あとは、ゼミ生だけで交流する機会も色々あるはず。
- ★留学する学生の受け入れ：可



授業について（形式・内容・今年変わったところ等）

★目的 企業経営に関係した現象について、その原因を分析し、次の一手を導き出す力を高めることがこのゼミの目的（詳しくは教務課から配布された「研究セミナー履修の手引き」を参照のこと）

★形式 文献の精読、研究・論文執筆が活動の2本柱。そのためゼミへ向けた準備・課題は、基本的には、個人で行うことになる（そうであるが故に、その分、ゼミの時間内と課外で、他のゼミ生と交流する機会を大切に出来る人、主体的に動ける人に来て欲しい）

先生ってどんな人？

このシートは、教員が書いてあるので、学生から見てどうかは分かりません。

先生からひとこと！

ゼミも授業も、学生の出来ることの幅が広がる（出来なかったことが出来るようになる）ようにしています



ゼミのアピールポイント それぞれのゼミは、例えば次の点において違いがあるはずですが、ゼミの目的、内容／研究テーマ、課題（その量、頻度、個人ワークかグループワークか）、ゼミのメンバー（雰囲気、人数、やる気、事前知識）、対面かオンラインか、これらが確定的かそれとも自分（達）の意見で／メンバーなどに応じて変わりうるか、など。そのうち、このゼミで確定的なこと（≡アピールポイント）は下をみて下さい。

どんな人が先輩？

教員は2022年に阪大に着任し、2023年からゼミを持つので、阪大のゼミに先輩はいません。前任校の東京外語大には（留学に行っていて卒業が遅れた）ゼミ生が2023年もまだ3人いるはずなのでもしかすると1回位、交流の機会があるかもしれません。

こんな人におススメ！

- ①【最重要】ゼミの目的を共有出来る人（ゼミの目的については、「研究セミナー履修の手引き」を参照）
- ②毎週、コツコツと個人で課題に取り組むのが苦手でない人
- ③「経営戦略」の授業で扱った知識をもとに、ゼミでは応用的・発展的なことに取り組みたい人。

ゼミの特徴

確定していること：ゼミの目的、文献を精読する際は何らかの課題がある、課題は個人で取り組む。経営戦略の事前知識が前提。たぶんそうなること：少人数なので発言する機会が多い、やる気のある・優秀なメンバーが集まっている。

ゼミの長所はコレだ！きちんと勉強しようと思う人だけが集まっているので、仲間が優秀&ゼミの時間が有意義。教員から丁寧なフィードバックが得られる

ゼミの短所は… 毎週コツコツと事前準備が必要。教員からのフィードバックが正直&丁寧なので、論理的には納得出来るが、感情的にはキツク思う時がある

自由記入欄（写真やQ&A、一年のスケジュール等）

ゼミの一年間

イベントの一例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究と論文の執筆 そのために、そもそも研究や論文とは何かを教科書的に学んだり、実際に研究論文を輪読したりもする。				業界の構造分析を用いたレポートの執筆 →夏休み終わり頃に発表 夏合宿？		文献の精読とそれにもとづく議論。時々、本の内容にもとづく小レポートの作成。 ※4月～7月の内容と、10月～1月の内容が逆じゃないの？ と思うのですが、この順番にはワケがあります。					

夏合宿は、戦略的思考を身につけるためにボードゲームを行いたい（ただしコロナ関係で未定）

教員参加のアフターは学期に3回位（お酒を飲む必要は全くない）

それ以外に、ゼミ生だけで交流する機会も色々あるはず

ゼミ生が感じるゼミの雰囲気パラメーター（該当する位置に●）



理由・説明等

ゼミの雰囲気は、誰が入ってくるか、またあなた次第で変わり得るものだと思います。が、このゼミは、誰もがすぐに思ったことを気軽に発言する、またそのために、そうしたお題が準備されているゼミではなく、考えている＝沈黙している時間が長い静かなゼミになるかと思っています（アフターになると、わいわい、がやがやと元気になる人が多いです）。ゼミのコンセプトは、じっくりと読み、考え、書く／話すなので、そうした時間を大切にしています。

最後に一言！

ゼミのアピールポイントの欄に記載した通り、それぞれのゼミはそれぞれ違った特徴を持っています。そのためゼミを分野／研究テーマだけで選ぶのではなく、自分がゼミ選びで優先したい軸は何なのかを良く考えましょう。その際には、雰囲気のように、事後的に変わりうるものでないのかも注意が必要でしょう。

出来る限り後悔しないゼミ選択をしてもらうために、このゼミでは、個別説明会を開催し、教員が質問に答える時間を設けています。また、応募にあたっては、ゼミでやることを予め的確にイメージした上で入ゼミしてもらうために、簡単なレポートを課し、面接を行っています。詳しくは、教員のHPを参照して下さい。